

平成 19 年度事業実績の概要

自殺予防プロジェクトでは、以下の通り、研究会を実施してきた。

- 第一回 10 月 3 日 キックオフミーティング 研究の方向性、計画の検討
 第二回 11 月 10 日 自殺予防に関する先行研究のレビュー
 (制度政策・医療福祉・家族のかかわりを中心にして)
 第三回 12 月 13 日 自殺予防対策の現状整理
 (行政実践・地域実践・ソーシャルワーク実践を中心にして)
 第四回 1 月 16 日 自殺予防対策の背景と介入方法
 (自殺者の動向・家族の機能・うつ病スクリーニングを中心にして)
 第五回 3 月 26 日 自殺予防対策の実際
 (統計資料から見る自殺者の現状・
 家族療法と集団療法・統合的アプローチ)

主に、自殺予防対策の現状を整理把握することに努め、先行研究をレビューしてきた。マクロレベルの政策課題からミクロレベルの臨床という多岐に渡る自殺予防の日本の現状と対策を、ある程度、把握できたのではないかと思われる。

平成 20 年度事業の計画概要

来年度の計画としては、19 年度の研究を受けて、さらに研究を発展させていく予定であるが、特に、企業等における社員向けの自殺予防の具体的なとりくみについて調査を実施していく予定である。

平成 20 年 4 月 質問紙検討開始

- 7 月 調査の質問紙の最終案確定
- 7 月 パイロットスタディ実施およびその調査方法の検討
- 8 月 ゲストスピーカーを交えての公開研究会
- 10 月 学会発表(事例検討を含めた先行研究整理・提言の予定)
- 11 月 調査開始
- 2 月 調査の集計・分析
- 3 月 公開講演会

以上の予定であるが、調査の内容次第で変更もありえる。

現時点での調査予定は、30 代の自己愛性の雇用者の孤独や不安、自殺の原因究明とその対応策、50 代 60 代の夫婦関係などに着目する。

具体的な調査として、今年実施のパイロットスタディとして、保健同人社内での専門職対象のアンケートプログラムの有無・訓練の有無・職種の差異・対象者への困難感・対象者の自殺経験などを調査していく予定である。